



## 【第3弾】部活動派遣費問題を考える 地域円卓会議 in 豊見城

せっかくの晴れ舞台、登録外メンバーも連れていきたい。  
その意義と課題を確認する。

### 実施報告書

日時： 2022年9月16日（金）18:30-21:10（受付開始18:00～）  
場所： 豊見城市社会福祉センター レク室  
共催： 公益財団法人みらいファンド沖縄、NPO法人豊見城市体育協会  
協力： NPO法人まちなか研究所わくわく

報告書作成  
NPO法人まちなか研究所わくわく  
公益財団法人みらいファンド沖縄

# ACTIVITY REPORT

## 【報告】【第3弾】部活動派遣費問題を考える地域円卓会議 in 豊見城



- 日 時：2022年9月16日（金）18:30-21:10
- 場 所：豊見城市社会福祉センター レク室
- 着席者数：7名（論点提供者、司会、記録者含む）
- 来場者数：12名（NPO、教育機関等）
- 共 催：公益財団法人みらいファンド沖縄  
NPO 法人豊見城市体育協会
- 協 力：NPO 法人まちなか研究所わくわく

### 論点提供 沖山 亜紀子（NPO 法人豊見城市体育協会 事務局）

せっかくの晴れ舞台、登録外メンバーも連れていきたい。  
その意義と課題を確認する。

当円卓会議のシリーズは、部活動に関する派遣費問題を議論してきました。今回はいわゆる「登録外メンバー」に関する議論です。派遣が決まっているメンバーは勿論、サポートや応援そして来年へのイメージ作りと登録外のメンバーを連れて行くことも大きな学習効果があると想定されます。この円卓会議では、行政からの助成のないメンバーへの支援の意義とその方向性についての課題を共有します。

### センターメンバー



沖山 亜紀子  
NPO 法人  
豊見城市体育協会  
事務局



新崎 恒  
サッカーチーム  
Casa okinawaU15  
監督



與那覇 蒼空  
サッカーチーム  
Casa okinawaU15  
選手



佐久間 暖人  
サッカーチーム  
Casa okinawaU15  
選手



溝井 洋輔  
沖縄タイムス社  
記者

# 【第3弾】部活動派遣費問題を考える

## 地域円卓会議 in 豊見城

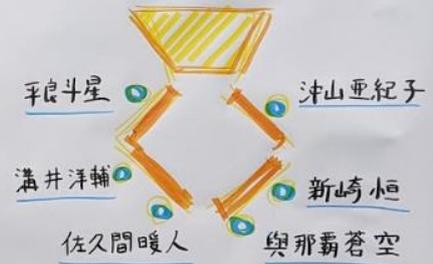
116回目 地域の困りごとを社会課題として共有共感する場

せっかくの晴れ舞台、  
登録外メンバーも連れて  
いきたい。

その意義と課題を確認する。

2022. 9. 16 (金) 18:30~21:10

@ 豊見城市社会福祉センター 17号室



共催 公益財団法人みらいファンド沖縄

NPO法人 豊見城市体育協会

協力 NPO法人 まちなか研究所わくわく

## 論点提供

### 沖山亜紀子さん

NPO法人豊見城市体育協会

旅ビの一部補助 (保母・指導者も対象)

2020年度 コロナでキャンセル多かった  
2021

2022. 8月 87名への補助

行政補助 + 休眠預金補助

対象経費 → 航空券・宿泊費 最大5万円/人

外経費 → 練習会場費  
大会参加料  
ガソリン代 など

### 帯同者の重要性

3Lビーカー  
洗たく、X-タルケス  
最善・ベストな環境が

### 登録外選手

とらえ方が様々

底上げ

チームの次の世代を担う選手

帯同がむずかしい登録外選手が多い

### 新崎恒さん

サッカーチーム「casa okinawa U15」監督

中学校部活で限界を感じた

中体連 → チームたちあげに

日本のサッカーの教科書

みんなで助けあひながらプロへ

それぞれのレベルに応じてプロへ

民間フットサル場(豊見城) 2日

西原 2日

90分~2時間/回

### 派遣費お助

市町村によってしくみがちがう

2021より協会の補助受け

5~65 x 3~4回 / 年 (コロナ前)

選手のいる中学校の行政補助を活用

クラブチームはいろいろな市町村の子がいる

差がある

### 子どもたち 沖縄の財産

家庭環境で差があることはよくない

派遣での変化

集団での生活 → 自立

たちよるまい・自信・人間的成長

メンバーはおれでも  
チームメイト  
その分頑張ろうと思える  
サポートしてくれる

### 九州3位

みんなで撮った写真

その場にみんながいる

自分がいる (ほら)

4人キーパー 3年間ライバル

試合にでなくても役割ある



### 與那覇 蒼空 さん

クラブチーム casa okinawa U15 選手

地区レベルでまわって

クラブチーム → いろいろな大会にでられる

2回 県外の大会へ

小6 練習試合で千葉へ

中3 九州大会

カラダ大きい選手たち

がんばる 登録選手 親

おけるとき、たてなおせる  
選手に  
知た  
他の人への助け  
をいよにした

送けい  
おうえん  
水曜ヒ



### 佐久間 暖人 さん

Casa Okinawa U15 選手

試合でれな...けど

チームメイトのサポート

でれな...かわりに頑張ってもらいたいと思えた

九州行くかギリギリまでまよった

お助金あること知って、心強かった

キーパー4人 3年...しょにやってきた

県内のチームしかみてこなかった

相手のチーム → カラダ大きくて  
3ドバイスあって



チームへ感じていること  
いろいろ感じていること  
話してくれた



### ずけやま さん

フロント (ミッドフィールダー)

フィジカル・コミュニケーションの  
ちがいはわかる

県内にもコミュニケーションできるチームある

試合はじまるまでのもりあげ

チームで行くことの意味



### ずけやま さん (母)

中学まで、コロナもある

帯同して行った

親として、見ていること伝えたい

クラブチームに入れることもかっ  
あった

チームをおもう気持ち

モチベーション、メリハリ

時間管理・カラダづくり) に変化

高校・大学を考へて経験に

お金かけること → 人生の投資

⑤ 奥那覇さん(母)

社会に支えてもらうことの意味は?  
子育てする上で、  
自分の子だけでなく、  
たくさんの子が経験すること大事。

⑥ 清井 洋輔さん

沖縄タイムス社

県外での体験、みているとこ  
おとなっぽい

いろいろ感じて帰ってくる

登録300名

試合でなく、子も含めてチーム  
支援すべき、ただどこまでか。

県外大会での記録・写真

中体連-離島 つれていけなかったという話

# サブセッション



登録メンバー・外メンバーでの温度差・モチモチ  
と支えあえるように  
広げの量・アウェー感  
離島の負担・集団率高、かたは

そもそも行政でできると? 文教・こせい) 両方  
県で調整キウもつこと 離島政策  
先行 → 市町村にあわせてしくみづくりへ。

中体連-学校スポーツ) と 地域スポーツ  
強さのまちとそうでない学校  
行政が支援できないところから

保ご者の決意 → どうしたら  
社会で支えてもらうか

しくみ化

法人化  
かせぐ  
しくみへ

これから  
世の中どうなるか  
わかろう

地域  
とは?

支えられる  
地域づくり  
も一方では  
必要

地域で  
支えやす  
くなる

行政  
として

子どもたちの  
体験保険

体験による  
変化を

生涯学習  
スポーツ

部活動  
地域スポーツ  
教育と地域

どう世の中に  
伝えるか

3スターター  
バルコウボ- 飲食

しまバナ  
マンゴー  
クラブスタッフで  
子どもたち

これを  
体験

市町村  
1つスポーツ施設  
5.3.3中  
その中に各々の

メディア  
記者とい

どこまで  
どう出すが  
デリケート

野球は  
支援が集まる

スポーツ全般へ  
スポーツ以外も

発信

まずは  
困っているところ

〇〇協会から

〇〇用足りない  
具体的に

歴史

⑥ 沖山さん

こうえんいろいろ

子どもたち保ご者の声きけた。  
地域で支えるしくみを。

平良(司会)

子どもの変化・成長は明らか  
体験の差はあってならない  
地域で支える。地域とは  
連帯に。事実を伝える。

露出  
関心度

地域とスポーツの関係は  
学校から地域へのシフト  
体育協会の役割 変化の時  
短期・長期のプランを

## 今後のアプローチの方向性（提案）

- 1) 派遣に参加した子ども、コーチ、親の話から、登録外メンバーも含めて子どもの変化や成長は明確であり、派遣に連れていく意義は大きい。また、チームとしての経験を持つことができる。
- 2) 派遣を支えるためには地域との連携が重要であるが、その支え手となる「地域」とは誰なのか、みんなを支えるための方法を考えていく必要がある。また、地域や環境によって体験の格差があってはならない。
- 3) 地域とスポーツ、生涯スポーツの関係性は、学校から地域へ大きく変化する時期で、地域の体育協会の役割も変化していく。体育協会が短期的、長期的にどういう役割を担うのか整理する必要があるだろう。

## ■参加者によるサブセッション

### せっかくの晴れ舞台、登録外メンバーも連れていきたい。 その意義と課題を確認する。

(参加者記載の原文をそのまま記載している為、事実と異なることがあります。グループ毎に①、②・・・と記載)

#### ①

補欠メンバー 希望を  
補欠メンバーも含めた練習試合  
登録メンバー 登録外の温度差 支援金の有無  
本州での応援の人数の差 アウェイ館  
地区県大会のたびに船や飛行機  
前乗り 台風による延泊  
競技別の支援格差  
小中高  
↑お金をかけたいサッカーで中学の大会での  
支援が最も少ない

#### ②

- ・ソフトテニス教えている
- ・学校→地域に移行
- ・地域スポーツ視点を変えていく必要
- ・1.仲間としての観点  
→団体教育
- ・2. (次のレギュラー) 育成の観点  
→メリハリ付けた補助必要
- ・2.の方が…  
専門の行政の観点でいくと広く浅くになって  
しまう
- ・親もレギュラーなれないと悔しい
- ・箱根駅伝

#### ③

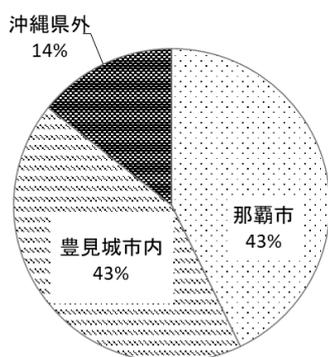
- ・体験格差
- ・教育員会による
- ・行政のわく組
- ・ふるさと納税遠征費にあてる
- ・調整機能
- ・スポーツの幅が時代によって広がった
- ・スポーツの発展
- ・地域ごとの相性
- ・離島は部活うんぬんより生活が大変
- ・移動の際の運賃を引き下げるべき
- ・ひとつのわく組
- ・いろいろな補助金がある

## 【第3弾】部活動派遣費問題を考える地域円卓会議 参加者アンケート集計

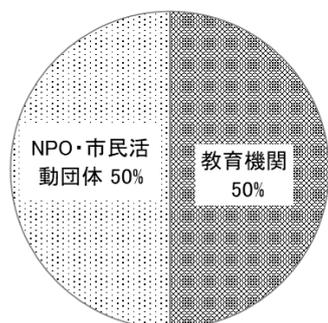
### ◆概要

- ・日時：2022年9月16日（金）18:30-21:10
- ・場所：豊見城市社会福祉センターレク室
- ・着席者：7名（論点提供者、司会、記者を含む）
- ・参加者：12名※内3名取材のためのメディア関係者  
（アンケート回収5名、回収41%）

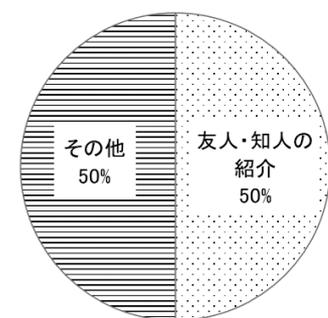
### 1. どちらから？



### 2. 所属



### 3. 円卓会議はどのように知ったか



### 4. 満足度

平均：5（5点中）

満足度	5. 満足	4. 概ね満足	3. 普通	2. あまり満足していない	1. 不満足
人数	3名	2名	0名	0名	0名

### 5. 満足度の理由

（5. 満足）

- ・ サッカーチームの選手、監督、保護者のお話がきけた。
- ・ いろいろな方とつながった。いろいろな考え方があり非常に勉強になった。
- ・ 離島における部活が抱えている課題について学ばせて頂きました。

（4. おおむね満足）

- ・ 私自身がスポーツの選手と指導者を行っていることや行政—自治を専門としていることから大変興味深く拝聴しました。
- ・ 指導者、選手、保護者の声が直に聞けたのが大変良かった。21時までは少し長いように感じた。とてもよい会議なのに参加者が少ない。もったいないと思う。（周知不足かなあ）

### 6. 円卓会議で印象に残ったこと

- ・ 生徒（中学生が一生懸命語っていた点が印象に残った。
- ・ 保護者が子供に対しての思い「お金はかかるが人生への投資と思えば」といったことが印象に残る。保護者に聞いたことは良いアイデアと思う。
- ・ 選手が「県外のチームのプレーや立ち居ふるまいから学ぶことがある」ことが体験の価値なのだろうと納得しました。
- ・ 1. 地域って誰？誰を指しているの？というところを顔が見える化していかないといけないな—と思いました。2. 部活動の地域以降に関する問題もチャンスに変えないといけない。
- ・ 地区大会の段階で船舶移動が必要になる地域があるということが、本土出身の人間にとっておどろきでした。

(写真) 会場の様子



補欠メンバー 希望を

補欠メンバーも含めた練習試合

登録メンバー、発針外の温度差 競合の有無

本州での応援の人数差 アウェイ感

地区大会の度に船で飛行機  
前乗り、台風による延泊

競技別の支援格差

小中高

お金をかけたサッカーで 中学の大会での  
支援が最も多。

1/7トレーニング教える

学校 → 地域に移行

地域スポーツ、視点を交えて  
必要。

①仲間としての観点  
→ ④ 体育教育

②(次のレギュラー) 敵の観点  
→ メリハリを付けた補欠が必要。

②の方が...

専門の知識の観点でめんど  
病に決まってしまう。

親もレギュラーだめだとい悔しい

箱根駅伝  
ex.

・ 格差

・ 教育委員会にやる

・ 行政の仕組み

・ みるごとく納税遠征員にわたる

・ 調整機能

・ スポーツの幅が時代によって広がった

・ スポーツの発展

・ 地域ごとの相性

・ 高知島は部活うんぬんより生活が  
大変

・ 物産力の差の運賃を引上げた  
べき

・ 仕組みの仕組み

・ 色々な補助金がある